



新年を迎えて

富山県自然博物館ねいの里 館長 富永 宣宏

あけましておめでとうございます。

いよいよ富山にも新幹線が開通する記念すべき年が明けました。

北陸新幹線の開通により、富山の観光や経済に大きな変革がみられることが予想され、我がねいの里も全国展開する絶好のチャンスが到来する、と言いたいところですが、実際は大きな変化がないように思います。

というのも、この施設は地元密着型であり、県外や国外からの観光客の誘致などには力を入れておらず、入館者はほとんどが県内の方であるからです。今後とも、地元の方に愛され積極的に活用していただくことこそが、この施設の使命であると考えています。

今年は開館34年目になりますが、今夏には開館以来の入館者が100万人の大台に達する予定で、これまでに県民1人あたりほぼ1回はねいの里を訪れた計算になります。開館当初からのねいの里のコンセプトは、「自然に親しむ」「自然に学ぶ」「自然を守る」で、これからも継続していく予定ですが、30年以上が経過し、利用者のニーズや年齢層も徐々に変化してきたため、このコンセプトのみにこだわった館運営は難しくなってきました。

その理由としては、

- ・平日利用は、子育てサークルの未就学児を引率したお母さん達と、幼稚園・保育園、小学校低学年の遠足になっていること。
- ・休日には、いこいの村に来た人（幼児連れの親子が中心）にねいの里も利用してもらうことに力を入れていること。
- ・幼児を連れた家族が多いため、ナチュラリストによる園内の自然解説を希望する人は非常に少ないこと。

などがあげられます。

このように、利用者の中で幼児が占めるウエイトが大きくなってきていることから、幼児に対する対応が重要になってきています。

幼児にとっては、自然に親しみ、学ぶ前に「**自然と遊ぶ**」ことが必要であり、去年は遊ばせる手段として、

- ・「ミニ動物園」のカメやカエルなどの小動物にたくさん触らせる。
- ・林の中で植物や遊具を使って遊ばせる。
- ・ドングリや木の枝などの自然素材を利用しての工作づくりを行う。

などの取り組みを行いました。

このような取り組みが功を奏してか、去年は幼児連れの家族のリピーターが大変増加しました。特に、ヘビが大好きな女の子がいろいろなヘビに触らせてほしいと、何度も足を運んでくれたことには驚きました。

これからは、リピーターになっている幼児たちが小学校高学年になりジュニアナチュラリストを目指すようになるまで、ねいの里のファンとして定着してもらえようような取り組みを考えていかなければならないと考えています。

本年もどうぞよろしくお願ひします。



(いこいの村での勧誘のようす)



(幼児が楽しく遊ぶ手作り遊具)



ふくろう先生に
聞いてみよう！

「冬になってもトンボ探し」

県民福祉公園職員 垣地 健太

私の得意分野はトンボなので、トンボの話題を記載したいと思います。

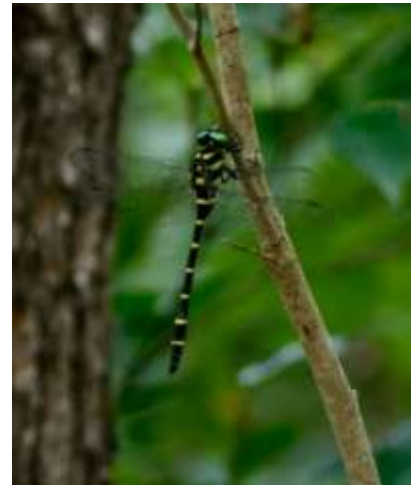
昨年、開催されたねいの里の行事‘トンボの調査と標本作り’ではたくさんの方に参加いただき折りがとうございました。行事中にはトンボの王様‘オニヤンマ’や体が細く標本作製することが難しいイトトンボの仲間を採取している人もいました。

さて、トンボの季節といえば夏～秋だと思っている方が多いと思います。確かに、その通りなんですね。夏はオニヤンマやシオカラトンボなど、そして、秋は赤とんぼといったようにトンボ観察にベストな季節は夏～秋です。

しかし、冬のこのタイミングでなぜトンボの話題かといいますと、成虫（大人）の姿で冬を過ごすトンボが存在するからです。その名も、オツネトンボ。漢字では「越冬蜻蛉」と書き、成虫で年を越すトンボです。ほとんどのトンボは、卵またはヤゴ（子ども）の状態です。成虫の姿で冬を越すオツネトンボはとても珍しい生活形態をしているといえます。

下の写真は、ホソミオツネトンボとオツネトンボいい、いずれも富山県内を始め本州の各地で観察することができます。県内ではホソミオツネトンボの分布域が広く観察しやすいとされています。このトンボは越冬中、天敵から身を守るために保護色で身を隠します。また、ホソミオツネトンボは繁殖期になると、体の色は鮮やかな水色へと変化します。

残念ながら、私は富山県内でこのトンボを観察したことがないのです・・・。



ホソミオツネトンボ



オツネトンボ

どこでこのトンボを観察したかという、大学生を送った長野県で観察しました。大学の演習林内の木漏れ日が射す場所でホソミオツネトンボたちが日向ぼっこをしていたのを記憶しています。

皆さんも、冬にトンボ探しをしてみたいはかがでしょうか？

「春の七草」豆知識

現在の「七草」が最初に出てくるのは、1362年頃に書かれた「河海抄（かかいしょう）」（源氏物語の注釈書）の「芹なずな 御形はこべら仏座 すずなすずしろ これぞ七種」と詠んだ歌とされています。

下の写真はどれに当たるかわかりますか???



活動のふりかえり

(2014. 10. 13)

キノコ狩りとキノコ鍋を楽しむ



雨模様の中、大勢の人が傘をさしたりカッパを着たりしてキノコを探しに林の中へ。この秋ねいの里のキノコは不作で心配しましたが、思った以上に皆さん採って来られました。食べられるかどうか鑑定してもらった後は、キノコ鍋を堪能。今回も好評でした。



(2014. 11. 3)

巣箱作りと公園街道を歩く

またまた雨でしたがほとんど欠席者もなく、思い思いに巣箱を作りました。昼食後、古洞の森野鳥の園からねいの里までウォーキングを楽しみました。

雨の森もまた楽し！！です。



いざ出発！！

ねいの里を
めぐって



(2014. 11. 9)

いがりまさしさんのワークショップに参加して

ナチュラリスト 上田 礼子

いがりさんとの出会いは丁度一年前の科学博物館でした。いがりさんの作品である数々の写真が飾られていて、どれも素敵で心を引かれるものばかりでした。そして、いがりさんのギターという素敵な時間を過ごし、すっかりファンになってしまいました。

ねいの里でワークショップがあると聞きすぐに申し込みました。

当日は生憎の小雨模様でしたが沢山の参加者が有り、傘をさしながらのスタートでした。まず最初に空をバックにして枝に付く葉っぱを下から見て、露出補正を充分に使って写す技を教えてもらいました。意外に簡単にうまくできたので感激でした。

いがりさんの真似をして構図を取り写してみたり、今まで知らなかったカメラの機能や使い方を教えてもらったりで、目からうろこでした。



私は8月に持っていたカメラが壊れたため、いがりさん推薦のオリンパスTG3を購入して持っていましたが、いろいろな機能を使ってはみたものの十分に使いこなすことができていなかったのです。これからは、どんどん外へ出てカメラを使いこなして沢山の写真を撮りたいと思います。

いがりさんには、いろいろなことを教えて頂きとても感謝いたします。又、このイベントを企画してワークショップに参加する機会を作って頂いた「ねいの里」の皆さんに感謝いたします。

(2014. 11. 9)

クリスマスリース作りをして

吉平 拓未 (小学校4年)

最初にリースにつける材料を選びました。木の実やリボンなどのかざりがたくさんあってまよいました。リースの下の方は木の葉や実、わたをつけて、赤・緑・白のクリスマスカラーにしました。

上の方は、金や銀色にスプレーした木の実をつけてごうかな感じにしました。思ったより上手にできたので、うれしかったです。作るのが楽しかったので来年もまた参加したいです。



ねいの里 ホオホオニュース



2013年(第13回)アサギマダラのマーキング情報

富山アサギマダラ調査グループ

今回の調査グループの登録者は個人22名と1グループ(ジュニアナチュラリスト)。マーキングできたのは1,511頭で、23頭が県外で再捕獲されました。その中で移動距離の長かったものは、僧ヶ岳～沖縄県名護市の1,450km、白鳥山～鹿児島県喜界町の1,202kmと、千kmを超えたものが2頭確認されました。また、県外でマーキングされ、県内で再捕獲したものは、3頭でした。

| マーキング実績 | | 県外で再捕獲されたもの | |
|----------|-----|-------------|---|
| 場所 | 頭数 | 頭数 | 再捕獲場所 |
| 白木峰 | 507 | 10 | 長崎市, 山口県下関市, 高知県大月町, 徳島県阿南市, 和歌山県日高町, 京都市, 長野県伊那市, 石川県白山市 |
| 有峰 | 461 | 8 | 福岡県太宰府市, 山口県下関市, 愛媛県宇和島市, 山口県柳井市, 高知県香美市, 徳島県阿南市, 石川県白山市 |
| 白鳥山(朝日町) | 300 | 2 | 鹿児島県喜界町, 高知県香美市 |
| 僧ヶ岳 | 125 | 3 | 沖縄県名護市, 愛媛県宇和島市, 山口県大島町 |
| その他 | 118 | 0 | |

ねいの里行事案内 (ねいの里ホームページで活動紹介しています。)

- 1月4日(日)～6日(火) 9:00～17:00 (4日は13:00～)
「春の七草」頒布会 場所 ねいの里(200セット 要予約)
- 2月1日(日) 9:30～12:00
カンジキハイク(自然塾の会行事) 場所 ねいの里
- 2月15日(日) 9:30～12:00
冬の生きもの観察と動物の恵みに感謝 場所 ねいの里(ジビエ試食:30食 要予約)
- 3月21日(祝) 9:30～12:00
ねいの里の春見つけ 場所 ねいの里

(参加希望者はねいの里までお申し込み下さい。)

■ 特別展示

- 11月26日～3月30日 ネイチャーフォト展
- 12月10日～1月19日 春の七草実物展
- 3月11日～4月20日 県内のサンショウウオ展

■ お願い ■

- 「生き物ふれあい自然塾の会」会員募集中
皆さんのお知り合いで、ねいの里をよくご利用される方がおられましたら、自然塾の会への入会をお薦め下さい。会員の方にはねいの里会報「ふくろう通信」をお送りします。
- 会員の駐車場利用について
会員の方は、「ねいの里」行事への参加や施設の利用を前提に、ナチュラリスト駐車場を利用来ます。



今年もよろしく
おねがいします

発行 富山県自然博物館ねいの里 館長 富永 宣宏
〒939-2632 富山県富山市婦中町吉住1-1
Tel 076-469-5252 / メールアドレス shizen@toyamap.or.jp
ホームページ <http://www.toyamap.or.jp/shizen/>